

【公益社団法人新潟法人会長賞】

「謙信公武道館と税金」

新潟市立坂井輪中学校

三年 本間 朱夏

私は剣道部として活動し、3年間で試合のときに様々な体育館を使ってきた。2年生の県大会で初めて謙信公武道館を使った。他の体育館はバスケットやバドミントンのラインがあったので、試合前にそれを消す作業がとても大変だった。試合中にテープが足にひっかかるともあった。でも、謙信公武道館は剣道用に造られた施設だから試合前にラインを消す作業がなく、試合中にテープが足にひっかかるともなく、床がやわらかくてふみこみのときに足や腰が痛くなることなく、試合に集中することができた。

今回、社会で税金の勉強をして、謙信公武道館は税金で造られていると知った。他にも教育やごみの処理、災害からの復興にも税金が使われているようだ。教育では、公立学校は、教育費が税金で払われている。校舎や、体育館など、普段当たり前に使っている学校の設備もほとんどが税金でつくられているようだ。ごみの処理では、ごみ収集車のごみを回収し、処分施設まで運搬できるのも税金によって行われている。海岸にプラスチックや流木などの多くのごみが流れつく。このごみなどの回収や処理も税金で行われている。災害からの復興で、地震の時、建物や道路、電柱が壊れたら直すのも税金の役割である。火災の時に、家が燃えたら消防車や、警察を呼ぶのにお金がかからないのは、税金がその経費を担って

いるためである。

私の今までの税金のイメージは、何かものを買っても、消費税で値段が高くなるし、親が働いて貰ったお金も、そこからいろいろとられるというイメージだった。しかし、税金の勉強をして、学校生活や環境に役立っていることが分かり、消費税などで少しでも、国に協力できていると知った。また、私が納められる税金の種類は少ないけれど、大人になったら自分が払える税金を払うことはもちろん、お金で社会に貢献するだけでなく、ボランティアなどを通して社会に貢献できる大人になりたい。私の生活は税金によって支えられている。